

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

577

一般諸経費（塵芥）

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	2	循環型社会の形成
取組方針	2	廃棄物の適正処理、適正管理

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		清掃費	
	目		塵芥処理事業費	
	大事業		塵芥処理事業	
	中事業		一般諸経費（塵芥）	

事業種別	単年		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	一般廃棄物課 山下幸宏	435-1352
事業実施の根拠法令				関連課	収集センター、青岸清掃センター	

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	塵芥処理を迅速かつ適切に進めるため。		塵芥を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に加え、循環型社会の形成を目指すための事務等の諸経費。			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				塵芥処理のための事務諸経費 災害廃棄物の適正処理	塵芥処理のための事務諸経費	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	0	0	0	0	4,200	21,156	3,800	0	0	0
伸び率（%）	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△9.5%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	0	0	0	0	35,085	0	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	452	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	35,537	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	10,740	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	0	0	0	0	4,200	10,416	3,800	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.39	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.19	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	自動車修繕料2,200千円、									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	災害廃棄物処理受付件数	件	目標値					
			実績値			1835		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
				目標値				
				実績値				
				達成度(%)				
成果指標	災害廃棄物等処理量（7月豪雨）	トン	目標値					
			実績値			16.52		
			達成度(%)	%	%	%	%	
	災害廃棄物等処理量（台風20号）	トン	目標値					
			実績値			19.45		
			達成度(%)	%	%	%	%	
災害廃棄物等処理量（台風21号）	トン災害等	目標値						
		実績値			1490.11			
		達成度(%)	%	%	%	%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	塵芥を適正に処理し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に加え、循環型社会の形成を目指すため必要である。
見直し・改善内容	平成31年度から災害廃棄物処理部分は、廃棄物処理推進事業に統合する。